



# 批評理論 を学ぶ人のために

小倉孝誠 [編]

感想から解釈へ、感動から批評へ——。

脱構築批評からフェミニズム批評、システム理論、そしてエコクリティシズムまで。20世紀から現代までの理論を幅広く学び、具体的な作品分析をとおして批評のプロセスも体感できる入門書。

## 本書の内容

はじめに

### I 記号と物語

- 第1章 構造主義 (下澤和義)
- 第2章 物語論 (赤羽研三)
- 第3章 受容理論 (川島建太郎)
- 第4章 脱構築批評 (巽孝之)
- ◆コラム 法と文学 (川島建太郎)

### II 欲望と想像力

- 第5章 精神分析批評 (遠藤不比人)
- 第6章 テーマ批評 (小倉孝誠)
- 第7章 フェミニズム批評 (小平麻衣子)
- 第8章 ジェンダー批評 (小平麻衣子)
- 第9章 生成論 (鎌田隆行)
- ◆コラム 研究方法史の不在 (小平麻衣子)

### III 歴史と社会

- 第10章 マルクス主義批評 (竹峰義和)
- 第11章 文化唯物論／新歴史主義 (山根亮一)
- 第12章 ソシオクリティック (小倉孝誠)
- 第13章 カルチュラル・スタディーズ (常山菜穂子)
- 第14章 システム理論 (川島建太郎)
- 第15章 ポストコロニアル批評／トランスナショナルリズム (巽孝之)
- ◆コラム 文学と検閲 (小倉孝誠)

### IV テクストの外部へ

- 第16章 文学の社会学 (小倉孝誠)
- 第17章 メディア論 (大宮勤一郎)
- 第18章 エコクリティシズム (波戸岡景太)
- 第19章 翻訳論 (高榮蘭)
- ◆コラム 世界文学——精読・遠読・翻訳 (巽孝之)

あとがき

#### 本章の特徴

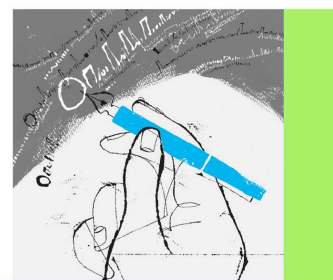
- ・20～21世紀の批評理論を網羅的に紹介
- ・日本の批評理論も紹介
- ・各章を理論編と実践編で構成
- ・地域やジャンルを超えた作品の分析

#### 編者紹介 小倉 孝誠 (おぐら こうせい)

慶應義塾大学教授、パリ・ソルボンヌ大学文学博士。  
著書に『歴史をどう語るか』(法政大学出版局、2021年)、『逸脱の文化史』(慶應義塾大学出版会、2019年)、『ゾラと近代フランス』(白水社、2017年)、『写真家ナダール』(中央公論新社、2016年)、編著に『世界文学へのいざない』(新曜社、2020年)、『十九世紀フランス文学を学ぶ人のために』(世界思想社、2014年)、訳書にフローベール『紋切型辞典』(岩波文庫、2000年)など。

## 批評理論

を学ぶ人のために



脱構築批評からフェミニズム批評、システム理論、そしてエコクリティシズムまで。20世紀から現代までの理論を幅広く学び、具体的な作品分析をとおして批評のプロセスも体感できる入門書。

小倉孝誠 [編] 世界思想社

■トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。  
トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。(了解者：朝加)

『批評理論を学ぶ人のために』 小倉孝誠 [編]		書店印
定価 2,860円 (10%税込) 2023年4月5日発売予定 四六判・並製/320頁 ISBN978-4-7907-1776-8		
お名前	ご注文冊数	冊
 世界思想社		〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707